

※青線は絶対覚えましょう

緑線は余裕があれば覚えましょう

No.

Date

展覧会の後

- ・ムソルグスキーがピアノのために書いた組曲(夢田気の違う曲をいくつか並べた曲)で、その後ラヴェルによってオーケストラ用に編曲された。
- ・画家ガルトマンの遺作展覧会の絵を音楽で描いている。
- ・全部で10曲から成り、「プロムナード」(フランス語で「散歩」という意味)というメロディーが曲と曲の間に何度も挟まれている。

プロムナード

↓
第1曲 グノーム(小人)

↓
プロムナード

↓
第2曲 古城

↓
プロムナード

↓
第3曲 テュイルリーの庭

↓
第4曲 ビドロ(牛車)

↓
プロムナード

↓
第5曲 卵の殻をつけたひなどりのバレエ

↓
第6曲 サミュエル・ゴールデンベルクとシュムイレ

↓
第7曲 リモージュの市場

↓
第8曲 カタコンベ

↓
第9曲 鶏の足の上の小屋

↓
第10曲 キエフの大きな門

・ムソルグスキー (1839~1881)

- ・ロシア ブスコフ 州の裕福な地主の子として生まれた
- ・ロシア 5人組 の中で最も 民族 色の強い 国民楽派 の作曲家。

ミリイ・バラキレフ

ツェーザリ・キュイ

モデスト・ムソルグスキー

アレクサンドロ・ボロディン

ニコライ・リムスキー=コルサコフ

- ・幼い頃から母親に ピアノ を学んだが、自らの希望で 軍人 になり、軍医であった ボロディン に出会い、バラキレフ の弟子になった。その後1858年に退役する。
- ・1867年、交響詩 「禿げ山の一夜」を作曲するがバラキレフの批判にあい、初演されたのは死後の1886年であった。これはディズニー映画「ファンタジア」や「サタデー・ナイト・フィーバー」にも使用された。彼の死後にリムスキー=コルサコフが手を加えたことで有名になった。
- ・その後も 公務員 の仕事をしつつ作曲活動が続けるが、以前からの アルコール中毒 や友人 ガルトマン の死などに依って 1881 年に死んだ。
- ・1874年にマリンスキー劇場で初演された 歌劇 「ボリス・ゴドノフ」は作曲家として成功を収めた。

・ラヴェル

- ・フランス の バス 地方で生まれた。スペインに近いので、スペイン を題材にした作品も多く残しており、また、ジャズ の影響も受けている。
- ・オーケストラで様々な色彩感を表現することができたので「管弦楽の魔術師」と呼ばれる。
- ・代表作の「ボレロ」は スネアドラム がたたく一定のリズムに乗って同じメロディーが繰り返される曲だが、次々と楽器が代わることによって色彩感豊かになっている。